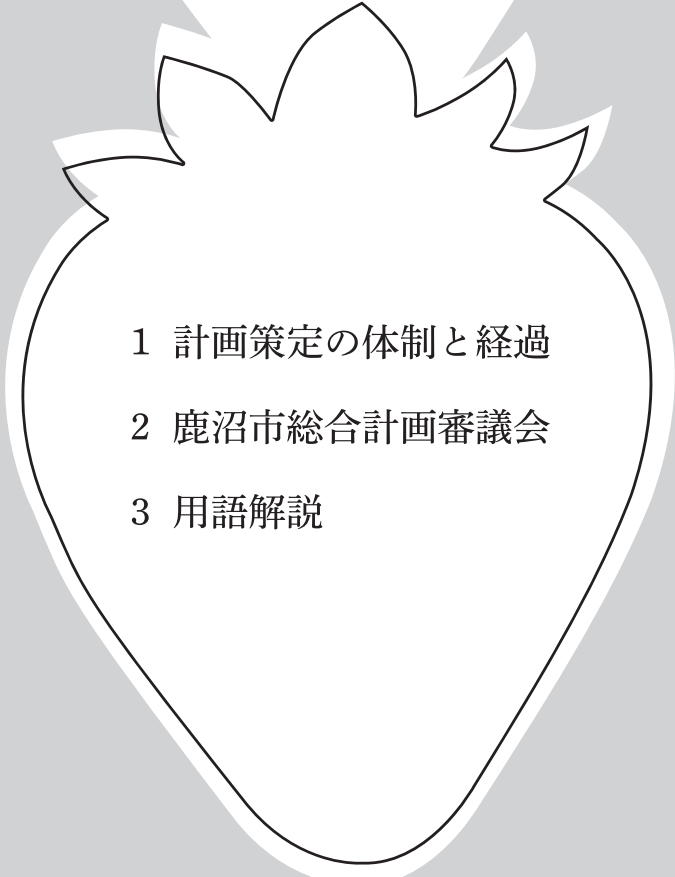




第4部

資料編

- 
- 1 計画策定の体制と経過
 - 2 鹿沼市総合計画審議会
 - 3 用語解説

1 計画策定の体制と経過

1 策定体制

ア 鹿沼市総合計画審議会

- 鹿沼市総合計画審議会条例(平成6年3月17日条例第1号)により設置される附属機関として、総合計画に関する事項について、市長の諮問に応じ調査・審議する。
- 学識経験者4名、関係機関や関係団体の役職員18名、市議会議員3名で構成。

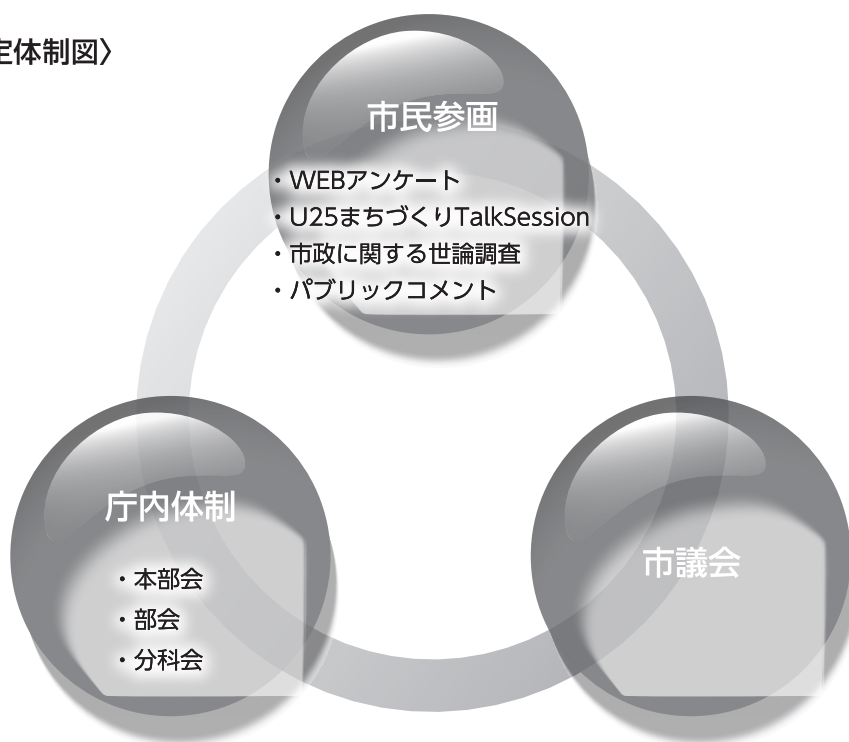
イ 庁内体制

- 本国会：部局長級で構成され、計画の審議等を行う。
- 部会：課長級で構成され、計画の調整等を行う。
- 分科会：係長級以下の職員で構成され、計画の調査や検討、作成等を行う。

ウ 市民参画

- 市民WEBアンケート、中高生WEBアンケート
本市の強み・弱み、市民満足度等についての調査。
- U25まちづくりTalk Session
学生や地元事業所の若手従業員などを対象に、まちづくりに対して自助・共助・公助それぞれの立場からできることを検討。
- 市政に関する世論調査
施策分野ごとの重要度や現在の満足度等についての調査。
- パブリックコメント
第8次鹿沼市総合計画(素案)について市民からの意見を募集。

〈策定体制図〉



2 策定の経過

| 年 月 | 取 組 内 容 |
|------------|--|
| 2020(令和2)年 | |
| 7月 | ○策定体制の発足 ○基礎調査、市民WEBアンケート、中高生アンケートの実施(～9月) |
| 8月 | ○第1回鹿沼市総合計画審議会(諮問) ○基本構想(目指すまちの姿、政策など)の検討(～10月) |
| 10月 | ○第7次鹿沼市総合計画の総括評価の実施(～12月) |
| 11月 | ○第2回鹿沼市総合計画審議会 |
| 2021(令和3)年 | |
| 2月 | ○第3回鹿沼市総合計画審議会 ○市議会への中間報告 |
| 5月 | ○基本計画(施策、取組方針など)の立案検討(～7月) ○市議会への中間報告 |
| 6月 | ○第4回鹿沼市総合計画審議会 |
| 7月 | ○市民参画(U25まちづくりTalk Session)の開催 ○重点プロジェクト等の検討 |
| 8月 | ○第5回鹿沼市総合計画審議会 ○市議会への中間報告 |
| 10月 | ○第8次鹿沼市総合計画(素案)の完成 ○第6回鹿沼市総合計画審議会 |
| 11月 | ○市議会への中間報告 ○パブリックコメントの実施 |
| 2022(令和4)年 | |
| 1月 | ○第8次鹿沼市総合計画(案)の完成 ○第7回鹿沼市総合計画審議会(答申) |
| 2月 | ○市議会へ第8次鹿沼市総合計画(案)を説明 |
| 3月 | ○第8次鹿沼市総合計画を市議会で議決 ○第8次鹿沼市総合計画の決定・公表 |

2 鹿沼市総合計画審議会

1 委員名簿

| 区分 | 所属 | 氏名 |
|---|-------------------------|---------------|
| 一 号 委 員 (学識経験者) | 国立大学法人宇都宮大学地域デザイン科学部 | 阪田 和哉 |
| | 鹿沼市小中学校校長会 | 設楽 昭子 |
| | 鹿沼地区幼稚園連合会 | 青柳 信一 |
| | 栃木県総合政策部 | 菅俣 宗良 |
| 二 号 委 員 (関係機関や関係団体の役職員) | 粟野商工会 | 井戸 道廣 |
| | 粟野森林組合 | 小曾戸 庸忠 |
| | 鹿沼ケーブルテレビ株式会社 | 野口 重彦 |
| | 鹿沼市自治会連合会 | 奈良部 実 |
| | 鹿沼市身体障害者親交福祉会 | 葉山 廣 |
| | 鹿沼市スポーツ協会 | 江田 光好 |
| | 鹿沼市男女共同参画社会づくり実行委員会 | 小杉 志津 (～R3.3) |
| | | 渡邊 雅紀 (R3.4～) |
| | 特定非営利活動法人 かぬま市民活動サポーターズ | 平野 克己 |
| | 鹿沼市民生委員児童委員協議会連合会 | 上澤 孝重 |
| | 鹿沼商工会議所 | 小太刀 昌子 |
| | 鹿沼市老人クラブ連合会 | 小島 正男 (～R3.3) |
| | | 鈴木 康子 (R3.4～) |
| | 鹿沼市森林組合 | 渡辺 保 |
| | 鹿沼相互信用金庫 | 内田 昭 |
| | 上都賀農業協同組合 | 中新井 明 (～R3.3) |
| | | 小杉 安治 (R3.4～) |
| | きれいなまちづくり推進員協議会 | 矢野 省一 |
| | 一般社団法人栃木県建設業協会鹿沼支部 | 宇賀神 勝 |
| | 栃木県社会保険労務士会 | 鈴木 教大 |
| 公益社団法人栃木県宅地建物取引業協会県央支部 | 西田 晃 | |
| 三 号 委 員 (市議会議員) | 鹿沼市議会 | 増淵 靖弘 (～R3.3) |
| | | 鈴木 敏雄 (～R3.3) |
| | | 大貫 毅 (～R2.9) |
| | | 佐藤 誠 (～R3.3) |
| | | 大島 久幸 (R3.4～) |
| | | 小島 実 (R3.4～) |
| | | 梶原 隆 (R3.4～) |

諮問

総第119号
令和2年8月3日

鹿沼市総合計画審議会会長 様

鹿沼市長 佐藤 信

第8次鹿沼市総合計画の策定について（諮問）

令和4年度からの「次期鹿沼市総合計画」を策定するに当たり、貴審議会の意見を求めます。

答申

令和4年1月24日

鹿沼市長 佐藤 信 様

鹿沼市総合計画審議会
会長 奈良部 実

第8次鹿沼市総合計画の策定について（答申）

令和2年8月3日付け総第119号をもって「次期鹿沼市総合計画」の策定に当たって意見を求められましたが、当審議会における審議の結果、第8次鹿沼市総合計画（案）については、本市の今後の市政運営の指針として適切なものと認められます。

市民と行政が一体となって、「第8次鹿沼市総合計画」の着実な推進を図るよう要望します。

3 用語解説

| ページ | 用語 | 解説 |
|------------------------|---------------------------|--|
| 9 | ドーナツ化現象 | 地価の高騰や郊外の開発などにより、中心市街地から郊外へと人口や商業施設が移動すること。 |
| 9 | リノベーション | 既存の建物に対して改装工事を行い、新たな機能を付加し価値を高めること。 |
| 10,18,53,54 | 健康寿命 | 健康上の問題で、日常生活が制限されることなく生活できる期間。 |
| 10,33 | 合計特殊出生率 | 15～49歳までの女性の年齢別出生率を合計したもので、一般に、1人の女性が一生の間に出産する子供の平均数と解釈される。 |
| 10,65 | イノベーション | 新たなアイデアや技術を生み出し、変革を起こすこと。 |
| 12 | スマート化 | 情報通信技術を活用することで、制度、手続、生活様式その他社会や生活の仕組を効率的かつ効果的なものとする事。 |
| 13 | ソーシャルビジネス | 社会問題や地域の課題をビジネスの手法を用いて解決する事業のこと。 |
| 13 | 5G | 5th Generation(第5世代移動通信システム)の略。「超高速」だけでなく、「超低遅延」「多数同時接続」といった特長を持つ新しい移動通信システムのこと。 |
| 13,19,65,101,109 | DX (デジタル・トランスフォーメーション) | デジタル(Digital)と変革を意味するトランスフォーメーション(Transformation)による造語。デジタル技術により利便性及び効率性が向上した製品、サービス等を社会に浸透させることで、これまでの考え方を根底から覆すような変革を社会にもたらし、人々の生活をより良いものに変えていくこと。 |
| 13,27,30,41,45,102,109 | Society5.0 | IoT、ロボット、人工知能(AI)、ビッグデータといった先端技術をあらゆる産業や社会生活に取り入れ、経済発展と社会的課題の解決を両立していく新たな社会のこと。 |
| 14,19 | レジリエンス | 様々な外からのリスクや緊張(ストレス)、衝撃に対して対処する能力のことを指し、特に、防災においては、災害などのリスクに対する抵抗力や災害を乗り越える力を意味する。 |

| ページ | 用語 | 解説 |
|--------------|----------|---|
| 14, 22, 71 | 水源涵養機能 | 森林が地中に雨水をたくわえ、洪水や渇水を防止・緩和するとともに、良質な水を安定して供給する機能。 |
| 14, 72 | 森林経営管理制度 | 経営管理が行われていない民有林を市町村に集約し、市町村による直接管理や、「意欲と能力のある林業経営体」に管理を委託することで適切な経営管理を促進する制度。 |
| 15, 30, 110 | キャッシュレス | クレジットカード、電子マネー、プリペイドカードなどにより、現金を使わずに支払をすること。 |
| 15, 103, 109 | テレワーク | インターネット等の通信回線を用いて、自宅、旅行先等から職場に接続し、職場と同等の環境で仕事をすること。これにより、時間、場所等の制限を受けない自由で柔軟な働き方が可能となる。 |
| 22, 29 | 都市のスポンジ化 | 人口減少や超高齢化の急速な進行に伴い、空き家や空き地等が発生することで、都市の密度が低下すること。 |
| 24 | ローリング | 計画に基づいて事業が推進されているかPDCAサイクルの下、効果検証を行い、結果を計画に反映させていくこと。 |
| 28, 29 | グランドデザイン | 将来のあるべき姿を目指した、全体の都市基盤に関する長期間にわたる計画のこと。 |
| 30, 41, 43 | GIGAスクール | 学校における1人1台端末と高速大容量の通信ネットワークを一体的に整備し、多様な子供たちを誰一人取り残すことなく、個別最適化され、資質・能力が一層確実に育成できる教育ICT環境を実現すること。 |
| 35 | 人口置き換え水準 | 人口が増加も減少もしない均衡した状態となる合計特殊出生率のこと。 |
| 35, 36, 57 | 療育 | 障がいのある子どもに対し、将来的な自立と社会参加を目指し、支援や治療を行うこと。 |
| 37 | 保留児童 | 保育所に入所を希望し、要件に該当しているが、特定の園を希望する等の理由から入所できていない子どものこと。 |
| 34, 38 | 認定こども園 | 幼稚園と保育園の機能や特徴を合わせ持ち、幼児教育・保育を一体的に提供し、地域における子育て支援を実施する、県から認可を受けた施設。 |

| ページ | 用語 | 解説 |
|--------|---------------|---|
| 39 | 子どもの貧困 | 日本における文化水準、生活水準と比較して困窮した状態である「相対的貧困」を指し、このような家庭環境の子どもの存在及び生活状況のこと。 |
| 39 | ヤングケアラー | 年齢や成長の度合いに見合わない重い責任や負担を負って、本来大人が担うような家族の介護やケア、身の周りの世話をすることで、自らの育ちや教育に影響を受けている主に18歳未満の子ども。 |
| 40 | 子どもの居場所 | 子どもの貧困や孤立対策として食事の提供や学習支援などを行い、家でも学校でもなく、子どもが自分の居場所と思えるような場所。 |
| 42 | インクルーシブ教育システム | 誰もがお互いの人格や個性を尊重し支え合い、認め合える「共生社会」に向けて、障がいのある人と障がいのない人が可能な限り共に学ぶ仕組み。 |
| 45 | QOL | 一般的に、「人生の質」や「生活の質」と訳し、生きる上での満足度を表すもの。 QOL(Quality of Life) |
| 45, 46 | コミュニティ・スクール | 学校と保護者や地域がともに知恵を出し合い、学校運営に意見を反映させることで、協働しながら子どもたちの豊かな成長を支える仕組み。 |
| 46 | LLブック | 知的障がいや発達障がいのある人が読みやすいように、写真や絵、絵文字などを多用し、短い言葉などで構成した本のこと。 |
| 46 | ヤングアダルト | 「若い大人」や「大人になりつつある人」として、13～19歳の世代を示す言葉。 |
| 47 | 総合型地域スポーツクラブ | クラブの運営主体は地域住民であり、年齢、性別に関わりなく、競技力向上、健康維持増進、楽しみ・生きがいづくり、仲間づくりなどの個々の目的に応じて、様々な運動・スポーツを行うことができるスポーツクラブ。 |
| 50 | 介護保険施設 | 要介護者を入所させてサービスを行う施設のこと。 特別養護老人ホーム(特養)、介護老人保健施設(老健) 介護療養型医療施設、介護医療院の4種類がある。 |
| 51 | 8050問題 | 80代の親と引きこもり状態の50代の子が同居する世帯の孤立化・困窮化に伴う様々な問題。 |
| 53 | ゲートキーパー | 自殺の危険を示すサインに気づき、適切な対応を図ることができる人のことで、言わば命の門番とも位置付けられる人のこと。 |

| ページ | 用語 | 解説 |
|------------|---------------|---|
| 59, 60 | フレイル予防 | 加齢に伴い、筋力や精神力など心身の活力が低下しはじめる、健康と要介護の中間にあたる状態を予防すること。運動・栄養・社会参加が重要と言われている。 |
| 63, 100 | ワーク・ライフ・バランス | 働く全ての人々が、仕事と育児や介護、趣味や学習、休養、地域活動といった仕事以外の生活との調和をとり、その両方を充実させる働き方・生き方。 |
| 65 | サプライチェーン | 原料の段階から製品が消費者に届くまで(原料調達、製造、在庫管理、配送、販売、消費等)の一連の経済活動の繋がり。供給連鎖。 |
| 70 | 農業生産工程管理(GAP) | 農業において、食品安全、環境保全、労働安全等の持続可能性を確保するための生産工程管理の取組。 GAP(Good Agricultural Practices) |
| 10, 71, 72 | 森林認証制度 | 独立した第三者機関が、一定の基準に基づいて「適切な手入れが行われている森林」又は「その森林から産出される木材等を適切に扱う経営組織」などを認証し、消費者の選択的な購入を促すとともに、生物多様性の保全や持続可能な森林経営を支援する取組。 |
| 72 | CSR | 企業が利益を追求するだけでなく、自らの組織活動が社会に与える影響に責任を持つこと。 CSR(Corporate Social Responsibility) |
| 76 | カーボンニュートラル | 二酸化炭素などの温室効果ガスについて、人為的な発生源による排出量と、森林などの吸収源による除去量との間の均衡(ニュートラル)を達成すること。 |
| 76 | ZEH | 高い断熱性能と省エネ・創エネ設備を組み合わせることで、使うエネルギーと作るエネルギーが実質0になる住居のこと。 |
| 80 | アルファ化米 | 炊飯後に乾燥させて作った加工米のこと。お湯や水を注ぐだけでご飯になるため、非常用に利用されている。 |
| 82 | 住宅セーフティーネット | 低額所得者、被災者、高齢者、障がい者、子どもを育てる家庭等、住宅を確保するのが困難な者に対してその住居を支援する仕組み。 |
| 85, 86 | ストックマネジメント | 建築物・構造物等の既存施設を対象とした、維持管理→改修・改築・補修等→維持管理→再整備→維持管理の一連方針に基づき、施設の長寿命化を図るもの。 |

| ページ | 用語 | 解説 |
|--------|----------|--|
| 90 | マイタイムライン | 住民一人ひとりのタイムライン(防災行動計画)であり、台風接近時等に自分自身がとるべき防災行動を時系列に整理することで、自ら命を守るための避難行動の一助となるもの。 |
| 80, 93 | 刑法犯認知件数 | 警察において、刑法に違反する行為を認知した事件の件数のこと。 |
| 30, 97 | 多文化共生 | 国籍や民族などの異なる人々が、互いの文化的ちがいを認め合い、対等な関係を築こうとしながら、地域社会の構成員として共に生きていくこと。 |
| 102 | IoT | 「Internet of Things(モノのインターネット)」の略。様々な情報の収集及び分析により製品、サービス等に付加価値を与えるため、自動車、家電製品、水道メータ等多種多様な「モノ」をインターネットに接続すること。また、収集された情報はビッグデータとなり、社会、制度等の改善に役立てられることとなる。 |
| 102 | ビッグデータ | ボリュームが膨大でかつ構造が複雑であるが、そのデータ間の関係性などを分析することで新たな価値を生み出す可能性のあるデータ群のこと。 |
| 103 | ワーケーション | ワーク(仕事)とバケーション(休暇)を組み合わせた造語。テレワーク等を行うことで、普段の職場ではない場所で仕事をしつつ、別の日や時間帯には休暇をとったり、その地域ならではの活動を行ったりすること。 |
| 106 | EBPM | 政策立案をその場限りのエピソードに頼るのではなく、政策目的を明確にした上で合理的根拠(統計データなど)に基づき実行すること。 EBPM(Evidence Based Policy Making) |
| 107 | ユニークユーザー | ホームページ閲覧を測定する指数として、この「ユニークユーザー数」、「訪問者数(セッション数)」や「ページビュー数」などがある。 ユニークユーザーとは、ユニーク=固有、ユーザー=人の数のことで、「ユニークユーザー数」とは、純粋に「何人がwebサイトを訪れたか」が確認できる指数。例えばAさんが午前と午後サイトに訪れ、合計10ページ閲覧した場合は、ユニークユーザー数は1、訪問者数は2、ページビュー数は10となる。 |

| ページ | 用語 | 解説 |
|-------------|-----------|--|
| 107, 108 | オープンデータ | 官民が保有するデータのうち、容易に二次利用が可能な形式でインターネット等を通じて公開されたデータのこと。 営利、非営利を問わず無償で利用可能。 |
| 14, 109 | RPA | 人がコンピューターを操作して行う作業をソフトウェアにより自動化する仕組み。 RPA(Robotic Process Automation) |
| 110 | AI・OCR | 紙文書をスキャンにより読み取り、文字をデジタルデータに変換するOCR 技術にAI を組み込み、読み取り精度を高めたもの。 OCR(Optical Character Recognition) |
| 110 | デジタルガバメント | 中央省庁、国、地方、民間等、全ての間の壁を超えたデータ連携・サービス融合を目指す、デジタル技術を前提とした行政運営の姿。 |
| 110 | 情報リテラシー | デジタル情報を正しく理解し、活用する能力のこと。 |
| 110 | 通信インフラ | 社会基盤として敷設、運用される通信回線や通信機器、施設などの総体のこと。 |